



問題番号	解答例	配点及び注意事項	計
一	<p>(1) 「りつばな人」になるためには、人間のりつばさどこにあるかを自分の心のおく深くからとらえ、心の底から、りつばな人間になりたいという気持ちを起こすことが必要である。</p> <p>(2) 「りつばさうに見える人」とは、自分が人の目にどううつるかということをしちばん気にして、ほんとうの自分、ありのままの自分がどんなものかということをし、考えない人である。</p>	<p>8</p> <p>1 2</p> <p>同趣旨ならば点を与える。また、部分点を与える場合がある。</p>	2 0
二	<p>花びんに生けたチューリップが、何日かたつと、どんどん開いてそのままになり、ちよつとしたこととで花びらを落としてしまうのに対し、植木ばちに一輪だけ花をつけたチューリップは、朝は大きく開き、夜になるとそつと閉じ、花びらを散らすことなく長くもつものであった。</p> <p>そこから、筆者は、生きているものがそこにいるという感じがし、これまでよりずっとチューリップの存在を深く感じたり、季節の移ろいや時間の大切さを教えてもらったりして、豊かな感性をもつことの大切さを感じ取った。</p>	<p>2 5</p> <p>同趣旨ならば点を与える。また、部分点を与える場合がある。</p>	2 5
三	<p>自分の心のおく深くにひびく体験をすることは、自分自身の見方を深め、心を豊かにしてくれるから、大切なのだと思います。</p> <p>一年ほど前のことです。家の庭にきずいた山ばとがうずくまっていた。父からは、野生の鳥なので世話は無理だと言われましたが、羽を逆立て苦しそうな姿を見ると、見すてることができませんでした。えさは、口をこじあけておしこみました。毎日世話をし、およそ一か月で、飛べるまでに回復しました。外に出すと家の屋根にとまり他に行動し、とはしませんでした。どこにも行きたくないと書いていたように、思わず胸が熱くなりました。鳥にふれたこともなかったわたしが、山ばとと心が通い合っただけで、すべての生き物をとても身近に感じるようになった。実際に関わること、わたしの世界は、広がっていくのだと思います。</p>	<p>5 5</p> <p>問題の趣旨にあてれば点を与える。また、部分点を与える場合がある。</p>	5 5
合計			100